

登録コード	E9123305	開講年度	2026		
授業科目	教育心理学特別演習 F				担当教員 水口 崇
英文授業名	Advanced Seminar in Educational Psychology II				副担当
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室	教育研究室	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	1. 研究の種類、方法論、内容論について学ぶ。 2. 研究倫理と論文の執筆について学ぶ。				
(5)授業計画	第15回 データ収集 第16回 データ収集の実際：実験 第17回 データ収集の実際：調査 第18回 データ収集の注意点 第19回 研究倫理：オーサーシップ等 第20回 研究倫理：インフォームドコンセント等 第21回 研究倫理：データの管理等 第22回 研究倫理：利害関係等 第23回 論文の執筆 第24回 問題と目的の書き方 第25回 方法の書き方 第26回 結果の書き方 第27回 考察の書き方 第28回 論文の全体構成 【授業アンケートの実施】				
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・レポ-ト及びプレゼンテーション内容により、みずからが考え、みずからの意見を表現できるかを はかる(30%) ・定期試験により、保育内容についての実質的な知識・技能を備え、それらを応用できるかをはかる(70%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。				
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。				
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	水口崇 mizutaka@shinshu-u.ac.jp				
【教科書】	特に無し				
【参考文献】	適宜紹介する				